

**CASBEE-新築(簡易版)2008年版**  
 (仮称)村田機械(株)本社社員駐車場新築工事

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2008年  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.1.2)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.5</b>
<b>Q1 室内環境</b>								
<b>1 音環境</b>								
<b>1.1 騒音</b>								
1 暗騒音レベル	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>								
1 開口部遮音性能	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
2 界壁遮音性能	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
<b>1.3 吸音</b>	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
<b>2 温熱環境</b>								
<b>2.1 室温制御</b>								
1 室温設定	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
4 ゾーン別制御性	居住エリア無し	-	-	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 待機が空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
<b>2.3 空調方式</b>	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
<b>3 光・視環境</b>								
<b>3.1 昼光利用</b>								
1 昼光率	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
<b>3.2 グレア対策</b>								
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
<b>3.3 照度</b>								
1 照度	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
2 照度均等性		-	-	-	-			
<b>3.4 照明制御</b>	居住エリア無し	-	-	3.0	-			
<b>4 空気質環境</b>								
<b>4.1 発生源対策</b>								
1 化学汚染物質		-	-	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ガス・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>								
1 換気量		-	-	3.0	-			
2 自然換気性能		-	-	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		-	-	3.0	-			
4 換気計画		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>								
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>								
<b>1 機能性</b>								
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>								
1 広さ・収納性		-	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		-	-	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>								
1 広さ感・景観		-	-	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画		-	-	3.0	-			
<b>1.3 維持管理</b>								
1 維持管理に配慮した設計		3.0	-	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>								
<b>2.1 耐震・免震</b>								
1 耐震性		3.0	0.48	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.80	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>								
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.25	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		-	-	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.17	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.25	-	-			

2.3 適切な更新						
2.4 信頼性			1.5	0.19	-	-
1	空調・換気設備		3.0	0.25	-	-
2	給排水・衛生設備		1.0	0.25	-	-
3	電気設備		1.0	0.25	-	-
4	機械・配管支持方法		-	-	-	-
5	通信・情報設備		1.0	0.25	-	-
3 対応性・更新性			2.8	0.48	-	-
3.1 空間のゆとり			2.6	0.31	-	-
1	階高のゆとり		1.0	0.60	3.0	-
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率0.06	5.0	0.40	3.0	-
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.31	3.0	-
3.3 設備の更新性			3.0	0.38	-	-
1	空調配管の更新性		-	-	-	-
2	給排水管の更新性		3.0	0.33	-	-
3	電気配線の更新性		3.0	0.22	-	-
4	通信配線の更新性		-	-	-	-
5	設備機器の更新性		3.0	0.44	-	-
6	バックアップスペース		-	-	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.57	-	-
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-
3.2	敷地内温熱環境の向上	外壁に窓が無いため、敷地内通風が非常に確保出来た建物であ	4.0	0.50	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	2.5
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-
1 建物の熱負荷抑制			-	-	-	-
2 自然エネルギー利用			-	-	-	-
2.1	自然エネルギーの直接利用		-	-	-	-
2.2	自然エネルギーの変換利用		3.0	-	-	-
3 設備システムの高効率化		ERR=-	1.0	0.60	-	-
4 効率的運用			3.0	0.40	-	-
4.1	モニタリング		-	-	-	-
4.2	運用管理体制		3.0	1.00	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-
1 水資源保護			2.2	0.15	-	-
1.1 節水			1.0	0.40	-	-
1.2 雨水利用・雑排水再利用			3.0	0.60	-	-
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-
2	雑排水再利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			3.5	0.63	-	-
2.1	材料使用量の削減		3.0	0.07	-	-
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.25	-	-
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.21	-	-
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生骨材の路盤材利用	3.0	0.21	-	-
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-	-	-
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体と仕上げが容易に分別可能、内装材と設備が錯綜していな	5.0	0.25	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			4.3	0.22	-	-
3.1	有害物質を含まない材料の使用	内装無し。また、塗料は有害物質を含まない材料を使用。	5.0	0.32	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.68	-	-
1	消火剤	ハロン消火剤を一切利用しない	4.0	1.00	-	-
2	断熱材		-	-	-	-
3	冷媒		-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-
1 地球温暖化への配慮			2.0	0.33	-	-
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-
3	交通負荷抑制	駐車場を十分に確保、管理用車両駐車施設確保、出入口配慮	4.0	0.33	-	-
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.33	-	-
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-
1	騒音		3.0	1.00	-	-
2	振動		-	-	-	-
3	悪臭		-	-	-	-
3.2 風害、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-
1	風害の抑制		1.0	0.70	-	-
2	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制			5.0	0.20	-	-
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	ガイドラインチェックシート過半(13項目)満たす	5.0	0.70	-	-
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	広告物照明無し	5.0	0.30	-	-